



立志 鍛錬 協調

平成29年6月9日号

立三申

立川市立立川第三中学校

Tachikawa Daisan J.H.School

だより

伝統・文化の継承

校長 山口真一

1学期の大きな行事である体育大会と修学旅行が、ともに大きな成果をあげて終わりました。これは、生徒一人一人が行事の目的をしっかりと理解していることと、主体的に自分の役割に取り組んでいるからです。物事に真剣に取り組む姿は、観ている人たちを感動させます。そして後輩たちに受け継がれ、伝統となっていきます。永く引き継がれているものは、相応の意義があり、価値のあるものです。

修学旅行の目的地である京都・奈良が観光地として世界的に人気があるのは、国宝や重要文化財などの史跡や建造物が多いだけでなく、数百年にわたって人から人へ受け継がれている様々な文化や伝統があって、それもまた魅力の一つとなっているからです。

一例を挙げると、京都御所の北側、同志社大学に隣接して古い公家屋敷がひっそりと存在しています。「新古今和歌集」や「小倉百人一首」を撰した「藤原定家」を祖先として約800年続いている和歌の家元である冷泉家です。定家は平安末期から鎌倉前期の大歌人であり、その日記である「明月記」は現在国宝に指定されています。明月記には星の観察記録に関する記述がいくつもあり、超新星などの銀河系の構造を研究する現代天文学の研究理論を支えるものがこの中にあるそうです。屋敷内には御文庫と呼ばれる蔵があり、明月記をはじめとする国宝や重要文化財の典籍などが多数保存されています。明治維新の遷都において、多くの公家は天皇とともに東京（江戸）に移り住みましたが、冷泉家は京都に残ったため空襲や震災にも遭わず、貴重な文化財を今日まで残すことができました。昭和56年に財団法人となって国の文化財になるまで、これが個人の力で守り通してきたことに驚きと敬意を払わずにはられません。また、冷泉家では文化財の維持保存だけでなく、正月や節分、七夕などの年中行事を昔からの決まりごとに従って行っています。ここからも当時の人々の生活の様子や言葉づかいなどを知ることができ、日本の伝統文化を継承する貴重な存在となっています。

日本の文化財には木造建築が多いので数十年ごとに修理や修繕が必要であり、またこれらの作業を通して、当時の技術も受け継がれていきます。多大な労力と費用がかかりますが、貴重な文化財を後世に伝える大切な事業です。京都・奈良だけでなく、各地にも様々な文化遺産や伝統が今に伝えられています。東京都や立川市にも様々な文化や伝統が存在します。自分の生活している場所の歴史や文化をよく知ることが、文化・伝統を守る第一歩です。自らも文化・伝統の継承者となることを意識してもらえればと思います。

## 3年修学旅行

5月19日から3日間、京都・奈良方面において実施しました。短い準備期間の中で事前学習にしっかりと取り組み、ルールやマナーを守っての充実した修学旅行となりました。班行動でもお互いに協力しほぼ計画通りに全班行動することができました。成功させるために、中心となって活動してくれた実行委員のみなさん、よくがんばりました。



## 体育大会

さわやかな天候の中で、観戦しているすべての人を感動させる素晴らしい大会となりました。今年は体力向上の研究として作られた「三中体操」も競技種目となり、充実した内容となりました。

一人一人が最後まで全力を尽くし、競技内容、応援、係活動などで、歴代を超える体育大会になったのではないのでしょうか。お忙しい中、PTAの皆様にも運営にご協力いただきました。ありがとうございました。



## 小中連携教育活動

小中連携教育活動として、第六小学校・第三小学校の運動会にて、陸上部の生徒が模範走を行いました。模範走後、インタビューで「早く走るコツは?」「三中はどんな学校ですか?」の質問にも答えました。小学生へのいいお手本になり、運動会も一段と盛り上がりました。第七小学校での模範走は9月に予定しています。



## 羽子連バレーボール大会

5月28日(日)、本校の体育館にて開催されました。多数の小学生チームが参加し、大いに盛り上がりました。三中のバレーボール部員が審判等で活躍し、地域の方々からも感謝されました。お疲れ様でした。